

どうしましたカード ～私と医療をつなぐメモ～



『どうしましたカード～私と医療をつなぐメモ～』は、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が、医療機関を受診するときに、伝えたいことを忘れないようにあらかじめ記録しておくためのメモです。

医療と介護のデザインプロジェクト 

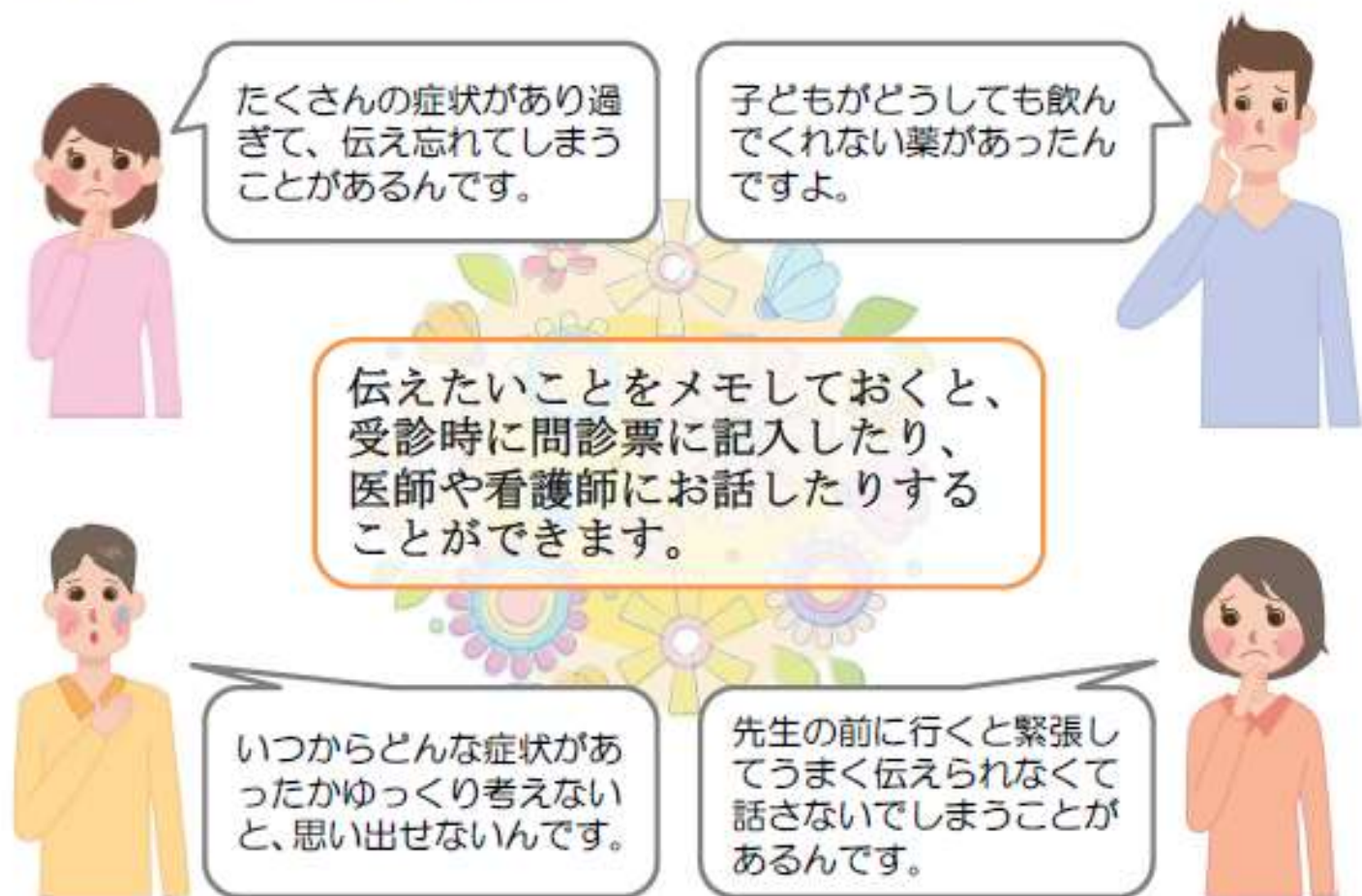
主催 久慈市地域包括支援センター
共催 岩手県立久慈病院

どうしましたカード～私と医療をつなぐメモ～の使い方

どうしましたカード～私と医療をつなぐメモ～は、医療機関を受診するときに、伝えたいことを忘れないようにあらかじめ記録しておくためのメモです。

※問診票に代わるものではありませんので、受診の際は問診票の記入等、医療機関の指示に従ってください。

【例えば、こんなことはありませんか？】



【例えば、受診の付き添いをお願いしたいときにも…】



どうしましたカード

～私と医療をつなぐメモ～

記入日： 年 月 日

記入者：

続柄：

持ち物例) ☐保険証 ☐診察券 ☐お薬手帳 ☐血圧手帳 ☐糖尿病手帳 ☐母子健康手帳
☐紹介状 ☐受診予約

フリガナ 氏名	生年月日 大・昭・平・令 年 月 日 年齢 歳 性別 男・女
住所 久慈市	携帯 電話 ① ②

これまでにかかったことのある病気について	緊急時連絡先（本人以外） 氏名 本人との関係 電話
かかりつけ医	アレルギー（疑い含む）
要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5 ケアマネジャー氏名	

いつからどのような症状がありますか？	体調の悪い度合い 0 1 2 3 4 5 体調の悪いところ
--------------------	--

自分が気になること	例) ・重い病気ではないか心配 ・いつから学校に行けるか ・耳が遠いので大きな声で話してほしい ・たくさんの薬を飲むのが大変 ・妊娠、出産に影響はないか ・注射が怖い ・緊張しやすい ・家でみてくれる人がいない ・費用が気になる ・トイレに行けない ・食事ができない ・物忘れが多い
医師や看護師に伝えたいこと	
生活で困っていること	
おうちの人から	

最後に一言

2018.1.30 医療と介護のデザインプロジェクト 作成 (コピー自由)

<注意> 医療機関で受診する前に受診者がメモとして使用するものであり、問診票に代わるものではありませんので、受診の際は問診票の記入等、医療機関の指示に従ってください。